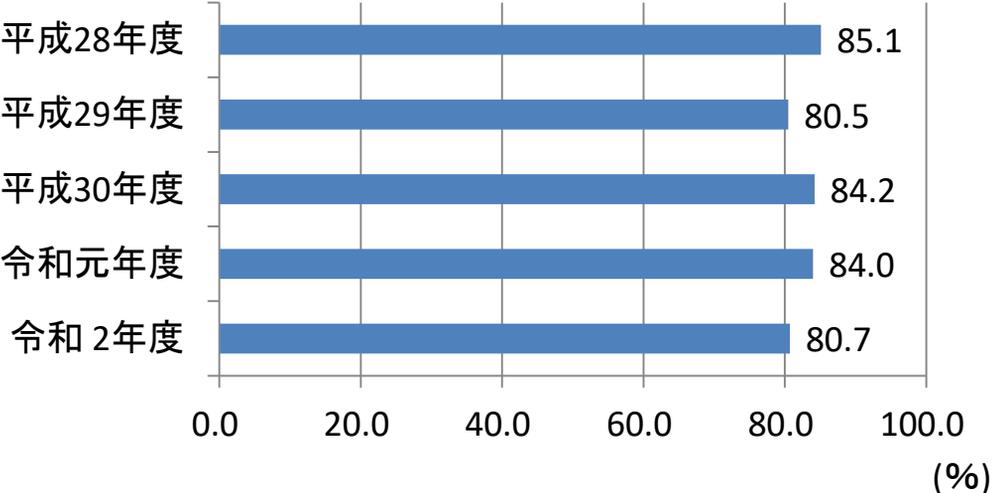


## 52 病床稼働率(一般病床)

<b>解説</b>	一般病床の運用に関する効率性を表す指標です。ただし、急性期医療を担うために、救命救急センター機能における空床確保も含め、常に利用可能な病床を提供する必要もあるため注意が必要です。												
<b>実績</b>	 <table border="1"><thead><tr><th>年度</th><th>稼働率 (%)</th></tr></thead><tbody><tr><td>平成28年度</td><td>85.1</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>80.5</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>84.2</td></tr><tr><td>令和元年度</td><td>84.0</td></tr><tr><td>令和2年度</td><td>80.7</td></tr></tbody></table>	年度	稼働率 (%)	平成28年度	85.1	平成29年度	80.5	平成30年度	84.2	令和元年度	84.0	令和2年度	80.7
年度	稼働率 (%)												
平成28年度	85.1												
平成29年度	80.5												
平成30年度	84.2												
令和元年度	84.0												
令和2年度	80.7												
<b>定義</b>	各年度1年間の、一般病床における病床稼働率です。以下の式で算出します。 病床稼働率 = (「入院患者延数」÷「延稼働病床数」) × 100												